

14 河曲地区地域づくり協議会



▲防災訓練時の集合写真

ピンクブルゾン

写真で登場しているブルゾンは、協議会の活動時に着用しています。地域を活性化するため目につきやすいピンクにしました

河曲地区とは？

河曲地区は鈴鹿川を中央に跨ぐ場所にあり、数多くの古墳群が点在する、歴史と自然が調和したまちです！



今回紹介するのはこの2つの事業！

河曲地区地域づくり協議会(以下、「協議会」)は、地域に暮らす住民自らが地域の現状や課題を把握し、行政と協働してまちづくり活動を行うことにより誰もが地域への愛着と誇りを持ち、安心安全に暮らしていけるまちの実現を目指すことを目的としています。

今回は、そんな地域と住民を愛している協議会の様々な事業の中から2つ紹介します！

1

防災給食の日

事業について

協議会発足当初から、河曲小学校の防災教育に協力しています。東日本大震災が発生した3月11日に防災意識の向上に資するよう、防災給食として備蓄保存に最適な、『えいようかん』を全生徒に1本ずつ配布しました。



▲生徒にようかんを配っている様子



ようかんが甘くて美味しかった！5年以上も保存できるなんてすごい！



災害が起こった時を想定して、毎年ようかんを用意してくれてありがとう！

2

サテライト型防災訓練

事業について

毎年、地域住民の防災意識の向上を図るため、河曲地区の16自治会一斉行動を前提とした防災訓練を行っています。

取組のきっかけ

鈴鹿川より南はほぼ全域が河川浸水が予想されることもあり、急な災害が起こった際はパニックになることもあるので、初期行動の訓練を毎年行うことで、迅速に対応するために始めました。

参加者からは、...

毎年開催することで、防災の意識と知識をしっかりと持つことができ、急な災害が起こった時でも、慌てずに避難することができるようになった。

河曲地区地域づくり協議会の委員からは、...



▲発電機や照明の動作確認

防災訓練を毎年行うことによって、地域住民に防災の意識が芽生えます！今年は16.02%の住民参加があり、昨年に比べて、0.74%の増加でした！

防災訓練を通じて、住民同士が顔を合わせてコミュニケーションを取るよい機会にもなりました。

1年間の取組を通して、

近年、大きな地震が頻発していることもあり、地域の方たちの高い防災意識を感じました。防災訓練では、各地区との連携が円滑に行えていたことから、日頃の訓練の成果を感じました。また、サテライト型の訓練の実施にすることで、地域全体で協力し、災害時に備えることができると思いました。

防災給食の日では、小学生や、その親世代も巻き込むことができる良い機会だと感じました。



▲本部で各自自治会の避難者数を書き込みます

参加者に配布した▲カップラーメン



問合せ先 ▶ 河曲地区地域づくり協議会

事務局:河曲公民館内「地域部屋」 ☎電話番号:059-390-1295